

2月定例市議会一般質問教育長・副教育長答弁要旨について

【一般質問】

	〔議員名 会派〕	〔担当課〕	〔ページ〕
1	魚崎 勇 会派新生	学校教育課	2～8
2	勝田 鮮二 会派未来ネット	学校保健給食課	9
		学校教育課	10・11・13
		教育総務課	12
3	前田 伸一 公明党	生涯学習・スポーツ課	14
		学校教育課	15～17
4	岡田 信俊 会派新生	学校教育課	18
		総合教育センター	19
5	太田 縁 無所属	教育総務課	20
		文化財課	21
6	山田 延孝 会派新生	生涯学習・スポーツ課	22・23
7	平野 真理子 公明党	学校教育課	24・25
8	上杉 栄一 会派新生	生涯学習・スポーツ課	26
9	吉野 恭介 会派新生	学校教育課	27
10	金田 靖典 共産党	学校保健給食課	28
11	横山 明 会派新生	学校教育課	29～31
12	足立 考史 無所属	学校教育課	32～34
13	朝野 和隆 会派新生	学校教育課	35
14	加藤 茂樹 会派新生	学校教育課	36・38・39
		総合教育センター	37

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	幼稚園・保育園、小学校のコロナ感染症対策について (1) コロナ感染症対策について ①休園、休校から登園、登校開始までの日程について ②休園、休校の連絡状況について ③休園、休校に対する経済的な支援について		
<b>【質問要旨】</b>			
(登壇) コロナ感染症対策を行う中で、幼稚園、保育園、小学校が臨時休園、臨時休校の対策を取るが、個人情報に関係している中、情報が得にくく不安が広がる。現在、どの様に情報を取り扱い、幼稚園、保育園、小学校の休園、休校から登園、登校開始までの日程をどの様に決められているのか尋ねる。			
<b>【答弁要旨】</b>			
(登壇) 児童生徒が陽性となった場合は、保護者から学校に連絡を入れていただくよう周知しています。陽性者の情報は個人情報ですので、校内でも慎重に取り扱うよう共通理解を図るとともに、臨時休業が必要な場合は、各保護者に連絡用メールにて可能な範囲で情報を伝えるようにしています。臨時休業期間についてですが、現時点では、陽性者が判明した場合はひとまず学校全体を臨時休業とし、関係者の検査を行って安全性が確認でき次第、保健所と協議の上再開することとしています。学校を再開した場合でも、濃厚接触者が多い特定の学級・学年においては、その学級・学年のみを引き続き休業とする場合があります。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>幼稚園・保育園、小学校のコロナ感染症対策について                  (1) コロナ感染症対策について                  ①休園、休校から登園、登校開始までの日程について                  ②休園、休校の連絡状況について                  ③休園、休校に対する経済的な支援について</p>		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(追及1)                  保護者にとっては、いきなり明日から休園、休校ですと連絡を受け、受けた後の対応に苦慮されると思う。保護者には、対応に時間的余裕が取れる様に連絡がされているのか伺う。</p> <p>(追及2)                  保護者が仕事で、園児、児童の世話を出来ない家庭もあると考えるが、その場合臨時の預け場所に預けるか、あるいは家庭で世話をして頂く方に来てもらう必要がある。このような場合には、その経済的な支援はどの様になっているのか伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(追及1)                  学校についても、保護者の皆様へは、陽性者が発生した場合の臨時休業の措置について、あらかじめお知らせし、ご協力をいただいているところです。臨時休業の連絡が必要な状況においては、検査結果によっては夜遅く連絡する場合がありますが、できる限り、速やかな連絡となるよう努めているところです。</p> <p>(追及2)                  本市独自の経済的支援は行っていませんが、国の「新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応支援金制度」について、学校を通じて各家庭に周知を行っているところです。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	小中学校教員の働き方改革について (1) 改革の取り組みについて ①具体的な取り組み内容について (2) スクールサポートスタッフ、部活動指導員について ①配置状況と期待効果について ②増員計画について		
<b>【質問要旨】</b>			
(登壇) 本市においても、これまでの学校現場での様々な現状や課題、学校を取り巻く状況を踏まえ、令和2年3月には「学校における働き方改革推進のための基本方針」を策定され、教職員の働き方改革を推進されていると認識しているが、具体的な取組内容について伺う。			
<b>【答弁要旨】</b>			
(登壇) 各学校におきましては、電話対応時間を平日は午前7時45分から午後6時または午後6時30分、長期休業日は午前8時15分から午後4時45分とし、土・日・祝日・閉庁日は電話対応時間外であることを音声ガイダンス機能にてお知らせしています。その他、毎週水曜日を定時退勤日とし、遅くとも午後5時45分までに退勤すること、地域・保護者のお力添えで交通安全指導や見守り活動を実施すること等に取り組んでいます。また、教育委員会としましても、スクールサポートスタッフや部活動指導員等の専門スタッフを配置すること、学校業務支援システム等のICT環境を整備すること、書類の様式や手続きを見直すこと、8月のお盆の3日間を夏季一斉閉庁日として設定すること等に取り組んでいます。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	小中学校教員の働き方改革について (1) 改革の取り組みについて ①具体的な取り組み内容について (2) スクールサポートスタッフ、部活動指導員について ①配置状況と期待効果について ②増員計画について		
<b>【質問要旨】</b>			
(追及1) 現在、スクールサポートスタッフや部活動指導員などの専門スタッフの配置を行われていると思うが、配置状況と期待される効果について伺う。 (追及2) スクールサポートスタッフや部活動指導員を増員してはどうかと考えるが、教育長の所見を伺う。			
<b>【答弁要旨】</b>			
(追及1) 今年度、県の教員業務アシスタントが市内の小学校5校、中学校4校に配置されていますが、そのほかにも配置を希望する学校が多く、市として独自にスクールサポートスタッフを配置しています。今年度は小学校3校、中学校2校に配置しており、配置校における時間外勤務の削減につながっています。部活動指導員につきましては、今年度、16校に68名を配置しています。生徒が専門的な指導を受けることができるだけでなく、教員は部活動指導に係る負担を軽減させることができます。 (追及2) 教員業務アシスタントの配置を多くの学校が希望していることから、配置人数や時間の増加を県に要望しているところです。市のスクールサポートスタッフを含めて配置可能な人数と、各学校における時間外勤務の状況を見定めながら、適切な配置に努めてまいります。部活動指導員配置に係る国の事業においては1校あたり3名程度の配置が想定されていますが、本市ではその想定を上回って配置することができています。令和4年度は各学校からの希望を踏まえ、17校に77名程度を配置する予定です。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>GAGAスクール構想について</p> <p>(1) GIGAスクール導入後について</p> <p>①導入後1年経過しての成果について</p> <p>(2) 語学指導等外国人青年招致事業</p> <p>①招致事業に期待する成果について</p> <p>②教師不足の状況について</p> <p>(3) 総合系校務支援システム</p> <p>①支援システムの成果について</p> <p>(4) 小学校における教科担任制について</p> <p>①働き方改革の成果について</p>		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(登壇)</p> <p>鳥取市GIGAスクール構想が1年経過しての成果を伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(登壇)</p> <p>本年度4月より鳥取市GIGAスクール構想が本格的にスタートし、学校では、eラーニング教材を使用した個別学習やデジタルホワイトボードを活用した協働学習等、様々な学習場面で学びを広げ、深めるために、児童生徒が日常的にタブレット端末を活用するようになりました。また、授業以外でも健康観察やアンケート調査にタブレット端末が活用されており、教職員の業務改善にも役立てられています。学校におけるICT機器の日常かつ効果的な活用が進み、児童生徒の学習意欲向上につながったことが、この1年の成果であると考えています。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>GAGAスクール構想について</p> <p>(1) GIGAスクール導入後について</p> <p>①導入後1年経過しての成果について</p> <p>(2) 語学指導等外国人青年招致事業</p> <p>①招致事業に期待する成果について</p> <p>②教師不足の状況について</p> <p>(3) 総合系校務支援システム</p> <p>①支援システムの成果について</p> <p>(4) 小学校における教科担任制について</p> <p>①働き方改革の成果について</p>		
<b>【質問要旨】</b>			
<p>(追及1)</p> <p>オンライン英会話授業を導入することにより、どのような成果を期待しているのか伺う。</p> <p>(追及2)</p> <p>本市において教師不足が生じているのか伺う。</p>			
<b>【答弁要旨】</b>			
<p>(追及1)</p> <p>オンライン英会話授業については、先日もニュースで取り上げていただきましたが、本年度は試験的体験授業を実施しているところであり、来年度は気高中学校をモデル校にし、年間12回の授業を行う予定です。本事業では、コロナ禍においても、生徒が外国人講師と1対1で直接コミュニケーションを行い、英語力の向上につなげることを期待しているものです。モデル校での成果を基に令和5年度以降は、他の学校にも拡大していきたいと考えています。</p> <p>(追及2)</p> <p>本市においても、年度初めにおいて欠員を抱えたままスタートしている学校や、年度途中に必要となった産休代員や育休代員等が未配置になっている現状があります。引き続き、任命権者である県教育委員会に対して、早急かつ適切な教員配置を求めてまいります。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	魚崎 勇	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>GAGAスクール構想について</p> <p>(1) GIGAスクール導入後について</p> <p>①導入後1年経過しての成果について</p> <p>(2) 語学指導等外国人青年招致事業</p> <p>①招致事業に期待する成果について</p> <p>②教師不足の状況について</p> <p>(3) 総合系校務支援システム</p> <p>①支援システムの成果について</p> <p>(4) 小学校における教科担任制について</p> <p>①働き方改革の成果について</p>		
<b>【質問要旨】</b>			
<p>(追及3)</p> <p>教職員の業務を支援する「総合系校務支援システム」を導入し、どのような成果が得られたのか伺う。</p> <p>(追及4)</p> <p>小学校における教科担任制の導入は、教師の働き方改革に関しての成果はあると考えられているのか伺う。</p>			
<b>【答弁要旨】</b>			
<p>(追及3)</p> <p>平成30年度から鳥取県内の全小・中・義務教育学校で一斉導入した「学校業務支援システム」について、システム導入後3年が経過し、文書連絡機能等の活用がより一層図られ、校内だけでなく教育委員会や他校教職員との情報共有・連絡調整が促進されてきています。導入後に全県で行われたアンケート調査では、教職員の約56%が、前年度より業務削減が図られたと回答し、平均で1人当たり年間約151.4時間の業務時間削減が図られるなど、業務改善の効果が上がっており、教職員の働き方改革につながられていると考えています。</p> <p>(追及4)</p> <p>県が示す「教科担任制（鳥取型）実践イメージ」では、小学校専科加配を含む担任以外の教員が一定の時間数以上の単独授業を行うことで、各担任に週5～7時間程度の空き時間が生まれることを想定しています。また、担任一人一人が担当する教科数が少なくなるとともに、同じ学習内容の授業を別のクラスでも実施することから、授業準備の効率化も期待できるといった点で成果はあると考えています。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	勝田 鮮二	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	除雪に関連して (5) 通学路について		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(登壇)</p> <p>子どもが通学するときに、歩道が雪に埋もれていたり、路肩に除雪された雪が積まれているという状態であれば、車道を歩かざるをえず、大変危険であり、死亡事故にもつながりかねない。通学路の除雪にあたって、子どもの安全確保はどのようにしているのか。学校と地域での調整など、歩道を含めた通学路の除雪の考え方について、教育長に伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(登壇)</p> <p>本市の多くの学校では、学校敷地内や学校周辺は教職員が除雪を行い、またそれ以外の通学路では、範囲を決めてPTAや自治会、ボランティアの方に除雪をしていただいています。皆様のご協力に対し、深く感謝申し上げます。なお、大雪のため除雪が追いつかない場合などは、登下校の安全を確保するため、一時的に通学路を変更したり、公共交通機関による通学を認めたりするなど、各学校で柔軟な対応を行っているところです。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	勝田 鮮二	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>学校に関連して  (1) GIGAスクール構想について</p>		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(登壇)  GIGAスクール構想について、タブレット端末は全ての児童生徒に行き渡っているのか。また、家庭でのネットワーク環境の現状と課題について伺う。</p> <p>(追及1)  家庭でのネットワーク環境整備も含めた対応を今後どのようにしていくのか伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(登壇)  本市GIGAスクール構想で整備したタブレット端末は、令和3年3月末までに児童生徒1人1台の配備を完了し、令和3年4月より、本格的に活用を進めております。家庭におけるネットワーク環境の現状としては、令和3年12月に調査したところでは、小・中・義務教育学校全家庭の約4%の家庭においてインターネット環境が未整備であり、オンライン学習を十分に行えない状況にあり、それを解消していくことが課題であると考えています。</p> <p>(追及1)  家庭におけるネットワーク環境整備については、Wi-Fiによるインターネット環境整備にかかる初期費用を助成したり、インターネット利用にかかる通信費を補助したりして、継続して支援を行っていきたいと考えています。学校休業等の場合には、携帯型Wi-Fiルーターの貸し出しや、学校施設等のインターネット環境を利用して対応することとしています。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	勝田 鮮二	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>学校に関連して            (1) GIGAスクール構想について</p>		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(追及2)            新型コロナウイルス感染症により、学校の臨時休業が相次いでいるが、タブレット端末を使ったオンライン授業の実績はどのようになっているのか伺う。</p> <p>(追及3)            オンライン授業の今後の展開はどのようにしていくのか伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(追及2)            新型コロナウイルス感染症により臨時休業となった学校においては、タブレット端末を使ってオンライン授業を行った学校があります。冬休み明け以降、先週末の時点で、のべ36校が臨時休業となった内、のべ23校がオンライン授業を行いました。</p> <p>(追及3)            本市では、本年度中に全ての学校がオンライン授業が実施できるよう、段階的に準備を進めてまいりました。今後においても、災害や新型コロナウイルス感染症等による臨時休業時の際も児童生徒の学びを止めないことはもとより、遠隔地の学校との交流や、例えば一流アスリートや宇宙飛行士等との遠隔授業等を行い、児童生徒の探究心の向上や、将来の夢を描くことにつなげていきたいと考えています。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	勝田 鮮二	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	学校に関連して (2) 学校統合に関連して		
<b>【質問要旨】</b> (登壇) 気高地域の要望は地域住民の総意にもとづくものであり、その結果を尊重して早期に開校へ向けての動きを進めるべきであると思うが、教育長の見解と今後の展開を問う。 (登壇2) 統合により4つの小学校が廃校となるが、地域活性化の観点からその利活用を検討することが必要と考えている。近年では、江山学園や千代南中学校の学校統合に伴い廃校となった学校があるが、その利活用の現状について、お尋ねする。			
<b>【答弁要旨】</b> (登壇1) 気高地域学校統合準備委員会では1年間にわたって、学校種や学校の設置位置について検討をいただき、深く感謝しているところです。今回の要望は、子どもたちにとって安全で、地域の皆さんが集まりやすい場所に学校を設置するといったものであったと受け止めております。教育委員会としては、要望書の内容をできる限り尊重し、早期に4校の子どもたちがみんなで学べる環境を整備したいと考えております。したがって、今後すみやかに関係者会議を設置し、検討に入りたいと思います。 (登壇2) 平成25年4月に開校した千代南中学校では、学校統廃合により佐治中学校が未利用施設となりました。その利活用については、地域の事業所など8団体に校舎を無償貸付し、地域の活性化のための施設として活用していただいています。また、令和2年4月に開校した江山学園では、学校統廃合により神戸小学校と江山中学校が未利用施設となり、そのうち神戸小学校については、来年度より民間事業者を活用していただく予定です。江山中学校については、施設整備により一時的に手狭となっている江山学園のグラウンドの代替地として、学校部活動でグラウンドや体育館を利用しています。施設整備完了後は市長部局と連携しながら利活用の検討を進めることとしています。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	勝田 鮮二	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	学校に関連して (3) 30人学級について		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(追及5) 現在本市では、小学校の1、2年生について30人学級を導入しているが、鳥取県は令和4年度から令和7年度までに全学年で段階的に「30人学級」を進めていくことを発表された。本市の現状と課題、今後の対応についてお尋ねする。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(追及5) 小学校1・2年生の30人学級については、県が全額負担し加配教員を確保しています。小学校3年生の30人学級と4～6年生の35人学級の実施にあたっては、1学級あたり200万円の協力金を県に拠出し、加配教員を確保することになります。令和4年度の小学校3年生の実施では9学級の増が見込まれます。本市ではこれまでも県と協力して加配教員の確保に努めてまいりましたが、人材の確保が引き続き課題として挙げられます。また、学級増に伴う教室の不足も想定されます。これらの課題の改善に向けて、県との協議を続けたり、教室確保のための検討を進めたりしてまいります。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	前田 伸一	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	子ども・若者支援について (2) 成年年齢の引き下げに関連して		
<b>【質問要旨】</b> (登壇1) 令和4年4月1日から成人年齢が引き下げられ、18歳が成人年齢となる。本市に居住する新成人の人数はどのくらいになるのか。 (登壇2) 成人年齢の引き下げの意義について伺う。また新成人の引き下げすることに対する課題と、本市では、どのようなことに取り組んでいくのかを伺う。			
<b>【答弁要旨】</b> (登壇1) 本市にお住いの新成人対象者は、住民基本台帳（令和4年2月14日時点）により確認したところ、令和4年度中に18歳を迎える新成人は1,762人（19歳を迎える者は1,900人、20歳を迎える者は1,795人）となります。 (登壇2) 平成28年から選挙権年齢が18歳に引き下げられおり、重要な国政の判断については18、19歳をすでに大人として扱っています。これと関連して大人としての自立や社会参加とを促すため、民法においても、この度の改正が行われたと考えます。課題としては、責任をもつ大人としての自覚をいかに促していくのか、また社会全体が新成人をいかに導いていくのか、という点が挙げられます。本市としては、公民館の生涯学習事業等を通じて、若者が地域や社会について考える機会を提供することで、新成人の自覚を促したり、地域学校協働活動や地域部活動といった、地域の大人と若者が関わる機会を多く創出することに取り組んでまいります。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	前田 伸一	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>教育の充実について                      (1) ICTを活用した教育について                      (2) 教科担任制について</p>		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(登壇)                      学校が臨時休業時のタブレット端末の活用状況について尋ねる。また、入院している児童生徒、不登校児童生徒などの活用について現状を尋ねる。</p> <p>(追及1)                      子ども達の格差につながらないように、教員のスキルアップ、能力の格差の解消に取り組んでもらいたいと思うが、教育長の所見を伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(登壇)                      新型コロナウイルス感染症による臨時休業時には、家庭にタブレット端末を持ち帰り、eラーニング教材の使用や教育動画の視聴、学校との双方向のやりとりによるオンライン授業等に活用しています。また、長期入院している児童生徒や、不登校生徒等がタブレット端末を用いて、病院や家庭から学校の授業の配信を受けたり、放課後にオンラインで教員と学習支援などのやりとりをしている事例があります。</p> <p>(追及1)                      鳥取市総合教育センターではICTを活用した授業づくりに関する教職員研修を計画的に実施しており、研修動画を配信したり、各学校の校内研修に指導主事を派遣したりして、教職員のICT活用指導力の向上を図っています。引き続き、本市の教職員のスキルアップを図ってまいります。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	前田 伸一	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<b>教育の充実について</b> (1) ICTを活用した教育について (2) 教科担任制について		
<b>【質問要旨】</b> (追及2) 教科担任制の効果と課題について尋ねる。 (追及3) 本市の教科担任制導入の考え方、準備状況（取組状況）について尋ねる。			
<b>【答弁要旨】</b> (追及2) 小学校に教科担任制を導入することによって、質の高い学習の保障、様々な教員の関わりによる生徒指導の充実、小学校から中学校への円滑な接続が期待されます。また、教員の働き方改革の面においても、一人あたりの授業時間数の軽減や授業準備の効率化を図ることができます。課題としましては、教科指導の専門性を有した人材を必要数確保することが挙げられます。 (追及3) 教科担任制のやり方には3通りあります。小学校専科の加配を配置すること、学年の担任同士で得意とする教科を持ち合ったり、担任を持たない教員が特定の教科を持ったりすること、小・中学校で兼務発令をして中学校の教員が小学校で授業を行うことです。本市ではすでに多くの学校で活用が図られていますが、今後も様々な工夫をしながらさらなる推進を図っていきたいと考えています。今年度、市内の4校が県の「小学校高学年における教科担任制推進校」に指定され取り組んでいるところです。その成果と課題を市内の全ての学校で共有し、さらなる展開を図っていきたいと考えています。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	前田 伸一	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年2月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	教育の充実について (1) ICTを活用した教育について (2) 教科担任制について		
<b>【質問要旨】</b> (追及4) 教科担任制導入では教員不足が懸念される。どのようにクリアしようとしているのか尋ねる。			
<b>【答弁要旨】</b> (追及4) 学級担任による教科指導と専科教員による教科指導の互いの良さを生かしながら、各学校の教育の質に差が出ないように努めているところです。そのうえで、教科担任制の導入においては、各学校、各中学校区の実状に応じた運用面での工夫を進めてまいります。専科教員の確保については、国や県に対し、加配の確実な配置となるよう引き続き要望してまいります。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中
<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">対応済</span>			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	岡田 信俊	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年3月1日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	小学校全学年30人学級化の導入について (1) 期待する効果について (2) 教師加配について		
<b>【質問要旨】</b>			
(登壇) 本市においては全学年30人学級化に対し、どのような成果があると考えているのか、今までの成果を踏まえ伺う。 (追及1) 県立鳥取豊学校では、通級による指導の担当教員が、該当する児童生徒の在籍する学校を巡回して指導を行う形態をとっていると聞いている。本市でも巡回指導が導入できないのか伺う。			
<b>【答弁要旨】</b>			
(登壇) 本市が毎年2回実施している共通の児童アンケートでは、少人数学級を実施している学級では「学校が楽しい」「授業に進んで取り組んでいる」といった項目の肯定的回答が年度当初に比べ、2回目の方が伸びている傾向が見られます。その背景として、少人数学級により「個別の支援が容易になり、指導を充実させることができた」「人間関係のトラブル等に対して素早く察知することができた」「一人一人の学習内容や活動量が増加した」等の理由が挙げられます。これらの成果からも、全学年30人学級が実現すれば、学習面、生活面でのきめ細やかな指導による教育の質の向上が一層進むものと期待しているところです。 (追及1) ご指摘の通り、現在、本市に設置している発達や学習の支援を行う通級指導教室は児童生徒が教室に通って指導を受ける通級型であるため、自校に通級教室のない児童生徒は保護者の送迎により他校の教室に通う必要があります。送迎が困難な家庭の児童生徒は、希望しても通うことができない現状が生じています。また、国の基準通りに国からの加配の配分がなされていない現状にあります。全ての児童生徒に必要な教育が提供されるよう担当教員が児童生徒の在籍する学校を巡回して指導を行う巡回型の教室開設に向けて、県と協議をしているところです。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中
<b>対応済</b>			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	岡田 信俊	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和4年3月1日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	公立中学校の夜間学級（夜間中学）について (1) 設置に関する本市の考え方について (2) 予想する生徒数や教師数について (3) 授業時間数や生活時間帯について		
<b>【質問要旨】</b> (登壇) 鳥取県立夜間中学の設置に関する本市の考えについて伺う。 (追及1) 鳥取県立夜間中学の想定されている生徒数や教員数について伺う。 (追及2) 夜間中学の授業時数や生活時間帯について伺う。			
<b>【答弁要旨】</b> (登壇) 鳥取県が令和2年度に実施した県立夜間中学に関するニーズ調査では、夜間中学校に通ってみたいと回答した37名のうち約半数の18名が鳥取市在住の方でした。このことから、学び直しを希望される方が、本市においても一定数おられることがうかがえます。夜間中学はそうした、義務教育を修了しないまま学齢期を経過した義務教育未修了者の方や形式的卒業生、外国籍の方の就学機会の確保に重要な役割を果たすと考えております。本市としても、令和6年度に鳥取市内に開校する予定の夜間中学について、鳥取県教育委員会と協力し連携を密にしているところです。 (追及1) 鳥取県教育委員会において決定された設置方針によると、開校時の規模は3学年で3学級とし、個別に対応した教育課程を編成するため、生徒数は各学年10名程度が想定されていますが、希望者が増えた場合には可能な限り対応していくとのことです。教職員数については、校長1名、教頭1名、教諭6名、養護教諭1名、事務職員1名の計10名が想定されています。 (追及2) 鳥取県立夜間中学は、卒業までの年数は3年を基本とし、週5日の授業を行うとしております。9教科の学習が行われる予定ですが、生徒一人一人の学習の習熟程度や実態に応じた個別のカリキュラムが編成され、学校行事や学級活動にも力を入れる方針とのことです。時間割については、午後5時30分から午後8時45分までに、40分授業が4時限行われることとなっています。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	太田 縁	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	令和4年3月1日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<p>地元資源を活用した既存建造物のアメニティーの向上と脱炭素社会                  (2) 学校施設のアメニティー向上について</p>		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(追及4)                  学校施設の整備に関しては、安全性の確保を図るため、耐震改修を優先して行ってきたところだが、耐震改修以外の快適性を高めるような施設整備が十分に出来ていないように感じる。学校施設整備の快適性向上についてどのような認識かお尋ねする。</p> <p>(追及5)                  木は、再生可能資源であるため持続可能社会に繋がり、炭素を固定するため地球温暖化防止に繋がると考えます。学校施設整備の際には、積極的に木材を利用してはどうかと考えるが、教育長のご所見を伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(追及4)                  本市では、最優先に取り組んだ耐震改修をはじめ、近年の猛暑対策として全普通教室へのエアコン整備や、計画的なトイレの洋式化整備などを進め、教育環境の向上に努めているところです。また、校舎の老朽化対策として、改修に順次取り組むこととしております。学校施設は、子ども達にとって学びの場であり、生活の場でもあります。一日の多くを過ごす場所ですから、健やかな学習・生活空間を確保し快適性を高めていくことは大切なことと認識しています。</p> <p>(追及5)                  本市では、これまで学校施設整備において、遮熱効果のある外壁材の使用や室内照明のLED化などの省エネルギー化や脱炭素化に取り組むとともに、木材についても家具や内装の一部で利用するなど、様々な配慮をしながら木材利用を進めているところです。</p> <p>引き続き、木材利用については、建物の安全性や耐久性を考慮しながら利用を進めて参ります。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	太田 縁	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	文化財課
質問・答弁月日	令和4年3月1日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<p>地域の歴史資源を活かした魅力づくりについて                  (3) 城下町再生ビジョンについて</p>		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(追及10)                  活用に取り組んでいる山の手通りとは、歴史的にはどのような意味をもつ道なのか。</p> <p>(追及11)                  古くからの道である山の手通りに対して、江戸時代に整備された若桜街道・智頭街道・鹿野街道は、歴史的にどのような意味を持っているのか。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(追及10)                  山の手通りは、江戸時代初頭までは湿地帯だった久松山麓の山すそに沿って通る道で、国府町にあった古代の因幡国府から、現在の鳥取城跡を通り抜け、湯所町から鳥取砂丘方面に向かい、兵庫県北部の但馬地方に続く、古代・中世以来の古道と思われる道の一部です。池田家由緒の寺院や神社、武家屋敷が道沿いに作られるなど、古代・中世から近世にかけての鳥取城下町造営の歴史を感じることでできる道であると考えています。</p> <p>(追及11)                  現在残されている鳥取城下町は、池田光政が鳥取藩主であった元和5年(1619)に造営が開始され、江戸時代の終わりまで段階的に整備されたものです。袋川の流路を現在の形に付け替え、若桜街道・智頭街道・鹿野街道を城下町の骨格としたのもこの時です。これらの街道は、城下町が目貫通りであるとともに、若桜・智頭・鹿野という重要拠点につながる、鳥取藩の行政機能を担う重要な道でした。なお、これらの道には、約4キロメートルごとに一里塚という目印がおかれていました。平成30年に復元した鳥取城の擬宝珠橋のたもとが、この距離を測る起点となっていました。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	山田 延孝	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和4年3月1日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	成人年齢の引き下げについて (1) 成人年齢引き下げについて市長、教育長の考え方について (2) 成人式について (3) 成人式(18才、19才)に対する市の関わり方について		
<b>【質問要旨】</b> (登壇) 成人年齢引き下げについての教育長の所見を伺う。			
<b>【答弁要旨】</b> (登壇) 成年年齢の引き下げの背景には、世界的にも18歳を成年年齢とする国が主流となっていること、また、国(法務省)は、若者の積極的な社会参加を促し活力のある社会をつくるため18歳、19歳の若者自らが未来を選択する環境をつくることがあると考えます。社会参加を促す上でも、子どもたちの自己肯定感ややる気、向上心を育てるといった取り組みを進め、成人につなげていくことが重要です。我が国のかじ取り役となる若者へ、大人としての責任と自覚を促すことは非常に大切なことであり、本市としても青少年育成に引き続きしっかりと取り組んでまいります。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	山田 延孝	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和4年3月1日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<p>成人年齢の引き下げについて                      (1) 成人年齢引き下げについて市長、教育長の考え方について                      (2) 成人式について                      (3) 成人式(18才、19才)に対する市の関わり方について</p>		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(追及1)                      来年1月3日に開催される本市の成人式は、どのような形で実施される予定なのか教育長に伺う。</p> <p>(追及2)                      新成人となる18歳、19歳に対し、鳥取市として祝意を表したり、新成人と関わりを持つことは意義があると考えますが、教育長の所見を伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(追及1)                      成年年齢の引き下げの背景には、世界的にも18歳を成年年齢とする国が主流となっていること、また、国(法務省)は、若者の積極的な社会参加を促し活力のある社会をつくるため18歳、19歳の若者自らが未来を選択する環境をつくることがあると考えます。社会参加を促す上でも、子どもたちの自己肯定感ややる気、向上心を育てるといった取り組みを進め、成人につなげていくことが重要です。我が国のかじ取り役となる若者へ、大人としての責任と自覚を促すことは非常に大切なことであり、本市としても青少年育成に引き続きしっかりと取り組んでまいります。</p> <p>(追及2)                      18歳、19歳は高校を卒業し新社会人として、大学生として、新たな一歩を踏み出す時期となります。ふるさと鳥取市の未来や、自分たちが担う役割について思いを巡らす時期であるとも言えます。この節目に本市が関わりを持つことは、UIJターンやまちづくり等、本市の政策にも繋がる重要な取り組みと考えていますので、本市から新成人対象者にメッセージを発信したり、市長部局と連携し若者の消費者トラブル防止に向けた情報を発信する等、新成人に対するアプローチに取り組む予定としています。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	平野 真理子	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年3月2日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	小規模転入制度について (1) 目的について (2) 効果と課題について (3) 今後の取り組みについて		
<b>【質問要旨】</b> (登壇) 小規模校転入制度の目的について教えていただきたい。 (追及1) 小規模校転入制度のこれまでの経緯（何校何人）、どのような効果があるのか。			
<b>【答弁要旨】</b> (登壇) 本制度の目的は、中山間地域小規模校の特色ある教育を受けたい児童生徒や受けさせたい保護者にその機会を提供するというものです。中山間地域小規模校ならではの特色ある教育で児童生徒がより力を伸ばす等が期待されます。目的の二つ目は少子化への対策です。中山間地域小規模校では、豊かな自然環境を生かした様々な体験活動や少人数でのきめ細かな学習指導、地域の人々とのあたたかい交流等の特色ある教育活動が展開されています。しかし、少子化による児童生徒数の減少で、複式学級への移行や学校の存続そのものが危惧される状況があります。本制度により、中山間地域小規模校の児童生徒数の増加を期待するものです。 (追及1) 効果としては利用者数の増加です。制度運用が始まった平成17年度は特認校3校、利用者4名でしたが、令和3年度現在は特認校10校、利用者74名まで増加しています。児童生徒や保護者からは「他校ではできない体験ができて楽しい」「自信をもって生活している」等喜びの声が届いています。特認校からは、制度を利用している児童生徒が活躍し、学校の活性化につながっているといった旨を聞くこともありました。また、学校づくりの意欲向上に繋がっているという効果もあります。魅力ある学校づくりをと、中山間地域小規模校ならではの教育活動を工夫し、ホームページの更新回数を増やすなど、その活動をアピールしたことで、県外からの移住定住者から希望があった事例もあります。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中
<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">対応済</span>			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	平野 真理子	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年3月2日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<p>小規模転入制度について                      (1) 目的について                      (2) 効果と課題について                      (3) 今後の取り組みについて</p>		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(追及2)                      小規模校転入制度は、どのような課題があるのか。</p> <p>(追及3)                      申し込みについてわかりにくい点があったと聞いた。その点も含め、今後は、どのような取組をしていくのか。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(追及2)                      現在、本制度も活用しながら各特認校は小規模でも魅力ある学校づくりをしていますので、本制度の趣旨を活かした取組の充実は継続していきます。一方で、本市は学校の適正規模化や適正配置を進めています。このため、全市的に少子化が進むことが見込まれる中での本制度の今後のあり方を検討していくことが課題です。いずれにしましても、郷土を愛し、豊かな心を育む学びの環境を築いていくことで、本市がめざす「ふるさとを思い 志をもつ子」の育成を図っていきたいと考えます。</p> <p>(追及3)                      今後、全市的に少子化が進むことを踏まえると、先程の事例でも紹介しましたが、市内だけの制度の推進にとどめず、県外からの移住家庭に紹介すること等も考えているところで。今年度は移住推進の担当課とも連携し、本制度を発信する取組も行いました。ポスター・チラシの配布はもちろん、移住紹介動画に本制度の紹介を含めてもらいました。今後もわかりやすく広く発信することで、制度の利用者を増やす取組を積極的に進めていきたいと考えます。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	上杉 栄一	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和4年3月2日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	旧本庁舎等跡地活用と文化施設の整備について (4) 福祉文化会館の活用について		
<b>【質問要旨】</b> (追及2) 平成29年6月、福祉文化会館の今後のあり方についての質問で、教育長は、廃止を含めて多機能や複合化を検討していきたいと答弁されたが、どのような検討がなされ、いつまでに決めるのか。			
<b>【答弁要旨】</b> (追及2) 平成29年6月議会の答弁を踏まえ、福祉文化会館の維持管理をしている一般財団法人教育福祉振興会との協議を行ったほか、平成31年2月、「市民会館等文化施設のあり方検討庁内会議」が設置され、福祉文化会館、市民会館、文化センター・ホール等の文化施設再編の方向性について、市長部局と検討を進めているところです。一方で、福祉文化会館については、開館から約50年が経過し、耐震上は不十分で老朽化への対応が喫緊の課題だと認識しています。関係機関との協議を行いながら、令和4年度を目途に教育委員会として、施設の方向性をとりまとめていきたいと考えています。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年3月3日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	1 鳥取市の環境政策の推進について (1) 市民運動にしていく事について		
<p><b>【質問要旨】</b>          (追及4)          タブレットを活用し環境について学ぶその一環として、家庭で親子学習をするような感じで学校と家庭をつなぐ新たな取組にできないか。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b>          (追及4)          小中学校の学習には、様々な教科でSDGsの視点が組み込まれていますが、これらの学習は家庭や地域と連携し実践することが大切です。GIGAスクール構想により配布しているタブレットは児童生徒が使用することが前提ですが、例えば、小学校低学年は保護者と共にタブレットでの検索等でSDGsについての情報収集等が可能です。また、児童生徒が環境問題について情報を整理・分析したものや、自分の考えをプレゼン等でまとめたものをもとに保護者と話し合うことで、より実践化につながると考えられます。家庭でのタブレットの有効な活用方法については、今後、研究・実践していきたいと考えます。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	金田 靖典	担当部局	教育委員会
会派名	共産党	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和4年3月3日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	通学手段の確保について (2) 今後について		
<b>【質問要旨】</b> (追及2) 青谷地区の「地域生活交通協議会」で、スクールバスの運行という結論になった場合、教育委員会の管理になるが、教育委員会としても了解しているということでのいいのか。			
<b>【答弁要旨】</b> (追及2) 青谷地域の「地域生活交通協議会」で、さまざまな議論がされていることについては承知しています。教育委員会としましては、そこでの議論を踏まえ、児童生徒の通学の手段が確実に確保されるよう、適切に対応してまいります。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	横山 明	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年3月3日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	小中学校教育について (1) 小中学校「少人数学級」について ①現状の取組みについて ②今後について		
<b>【質問要旨】</b> (登壇) なぜ今、約30年ぶりの全学級定員削減に動きだしたのか、「少人数学級」を導入する意義と効果についてお尋ねします。 (追及1) 国や県の動向を受けて、本市はどのように取り組んでいくのかお尋ねします。			
<b>【答弁要旨】</b> (登壇) 国が学級編制の標準を引き下げた趣旨は、一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の体制と、安心・安全な教育環境を整備することにあります。少人数学級を導入することで、教員が子どもたちに接する時間を増やして、一人ひとりに寄り添った教育を進めることができる、ICT活用の「個別最適な学び」の推進につながる、新型コロナウイルス感染症のような感染症にも対応しやすい、教職員の長時間労働等の負担軽減にもつながるなどの効果が期待されます。そのようなメリットを生かし、教育の質の一層の向上を図り、学力の向上やいじめの未然防止などにつなげていきたいと考えています。 (追及1) 現在、小学校1・2年生については、県が全額負担して加配教員を確保して30人学級を、小学校3年生～6年生については、本市が1学級あたり200万円の協力金を県に拠出して加配教員を確保し、35人学級を実施しております。来年度の小学校3年生の30人学級を皮切りに、これまで同様県に協力金を拠出する形で、小学校の全学年を30人学級に移行することとしています。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	横山 明	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年3月3日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>小中学校教育について                  (2) 学校現場における「教員不足」について                  ①現状の取組みについて                  ②今後について</p>		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(登壇)                  本市の教員の不足の理由、不足の影響、取組みについてお尋ねします。</p> <p>(追及2)                  本市において教員希望者が減る中、教職の魅力をどうとらえて、若い世代へ教員の魅力をどう発信していくのかお尋ねします。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(登壇)                  ここ数年、教員の大量退職が続いている反面、教員の志望者が減っているという現状があります。退職者分を補うために新規の者を多数採用することにより、臨時的任用教員、いわゆる常勤講師が大幅に少なくなっていることが教員不足の原因となっています。本市においても、年度初めに常勤講師が配置できないままスタートしている学校や、年度途中で必要となった産休代員や育休代員等が未配置になっている現状があります。今後も継続して、任命権者である県教育委員会に対して、早急かつ適切な教員配置を求めていきたいと思っております。</p> <p>(追及2)                  教職の魅力は、子どもたちと喜怒哀楽をともにでき、一緒に成長できること、そして、子どもたちの成長に間近で関わることであると考えます。現在、現職の教員が県内の高校や大学に出向いて、教員の仕事や教職の魅力について講義を行ったり、県教育委員会がPR動画を作成して、県外の学生に鳥取県の教育の魅力を伝えるなどの取組を行っています。今後も県教育委員会と協力しながら、若い世代に教職の魅力を発信できるよう努めていきたいと思っております。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	横山 明	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年3月3日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	小中学校教育について (3) 教員の「働き方改革」について ①現状の取組みについて ②今後について		
<b>【質問要旨】</b>			
(登壇) そもそも教員の時間外勤務がなぜ減らないのか、なぜ多いのかお尋ねします。 (追及3) 教員の時間外勤務が減らないことについて、今後どのように取り組もうとしているのかお尋ねします。			
<b>【答弁要旨】</b>			
(登壇) 児童生徒が学校にいる時間は、授業や部活動をはじめ児童生徒の指導や対応を行うため、教材研究や授業準備、分掌業務、事務処理等の仕事を始めるのは、必然的に夕方からになります。それに加え、各種会議や保護者対応、生徒指導対応など急遽の対応が入ることもあります。各学校では、時間外勤務を削減するために様々な努力をしていますが、そのような事情もあり、なかなか減らせない現状があります。 (追及3) 各学校におきましては、1日の仕事の時間配分を見直して、放課後に業務をできる時間を確保したり、各種行事を見直したりして、時間を生み出すなどの工夫をしています。本市としても、各学校に音声ガイダンス付き電話を配置して時間外は電話対応を行わない、毎週水曜日を定時退勤日とする、地域・保護者のご支援・ご協力により交通安全指導や見守り活動を実施する等に取り組んでいます。今後も、スクールサポートスタッフや部活動指導員等の専門スタッフの配置の継続、学校業務支援システム等のICT環境の整備、書類の様式や手続きの見直等を進め、時間外業務時間が一層削減されるよう工夫していきたいと考えています。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中
<b>対応済</b>			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	足立 考史	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年3月3日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>教育環境について            (1) 休校時の家庭におけるタブレット活用について            (2) 家庭におけるネット環境整備について            ①ルーター貸し出しについて</p>		
<b>【質問要旨】</b>			
<p>(登壇)            昨年度全校児童生徒へ持たせたタブレットの活用について、休校措置期間の家庭での活用はどのようにされたのか伺う。</p> <p>(追及1)            その後(令和3年4月以降)の進捗状況と今年度の未整備の見込み数を伺う。</p> <p>(追及2)            休校が相次ぐ中で、ネット環境が整備されていない生徒へ貸し出すルーターが不足したのではと危惧するが、状況を伺う。</p>			
<b>【答弁要旨】</b>			
<p>(登壇)            新型コロナウイルス感染症により臨時休業となった学校においては、児童生徒がタブレット端末を家庭に持ち帰り、eラーニング教材の使用や教育系動画の視聴、学校との双方向のやりとりによるオンライン授業等、家庭での学習に活用しております。</p> <p>(追及1)            家庭におけるインターネット環境整備について、初期費用の助成や通信費の補助等の支援を継続して行った結果、令和3年4月の調査では、未整備の家庭数が881、全体の約8%ありましたが、令和3年12月の調査では479、約4%と減少しています。現在はさらに減少しているの見込んでおり、今後も引き続き、インターネット環境未整備家庭への支援を継続してまいります。</p> <p>(追及2)            新型コロナウイルス感染症により臨時休業となった学校がオンライン授業を行う際には、インターネット環境のない家庭に対して、市教委所有の携帯型Wi-Fiルーターを一時的に貸し出しました。市教委所有台数は60台ですが、今のところ、所有する台数の範囲内で対応できています。今後、臨時休業する学校が増加し、市教委所有台数で対応できなくなった場合は、学校施設などを使用して対応するよう準備しています。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中
<b>対応済</b>			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	足立 考史	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年3月3日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	<p>教育環境について            (3) 体験的学習活動等休業日について            ①休業日の扱いについて            ②家庭・地域における体験的な学習活動について</p>		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(追及3)            今年5月・11月の飛び石休日を体験的学習活動等休業日として連続にされる措置は、本市独自の学校教育施行令に定められた休日を活用とありました。目的について伺います。</p> <p>(追及4)            教職員にとってこの休日の取扱いはどのようになるのか伺います。</p> <p>(追及5)            年次有給休暇であれば任意であり、日々たまった仕事の処理にでも当てられます。休業日についてどのように指導されるのか伺います。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(追及3)            この制度を導入するにあたり、学校管理規則を改正し、新たな休業日として位置づけました。子どもたちが豊かな心や人間性を育むためには、多くの人と関わりながら体験を積み重ねることが重要ですが、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、様々な制約を受けて生活をしてきました。そのような中、子どもたちと保護者など大人も一緒に体験的な活動等に参加することができる環境をつくることで、家庭や地域でのふれあいを深める機会とし、子どもたちの心身の健全な発達を促すことをねらって、本制度を導入しました。また、子どもの休みにあわせて、社会全体で有給休暇の取得の促進につながることも期待するところです。</p> <p>(追及4)            この日は学校は閉庁日とし、教職員は有給休暇等を取得することとしています。</p> <p>(追及5)            この制度の目的の一つが教職員の有給休暇取得の促進でもありますので、その趣旨を十分説明していきたいと思えます。教職員も家庭や地域で様々な体験やふれあいを行ってほしいと考えています。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	足立 考史	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年3月3日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>教育環境について            (3) 体験的学習活動等休業日について            ①休業日の扱いについて            ②家庭・地域における体験的な学習活動について</p>		
<b>【質問要旨】</b>			
<p>(追及6)            このたびの休業日のねらいとして「子どもたちの体験活動などの機会をつくる」とあります。具体的に家庭や地域にどのようなふれあい活動を想定されているのか伺います。</p> <p>(追及7)            ゴールデンウィーク、シルバーウィークにして家庭・地域でのふれあいが深まる機会をつくろうとされている一方で、仕事を休めない保護者がおられることも認識しておられます。この制度が公平に受け入れられない家庭があることを教育的立場からどう感じておられるかを伺います。</p> <p>(追及8)            次年度のゴールデンウィークも同様にされるか伺います。</p>			
<b>【答弁要旨】</b>			
<p>(追及6)            例えば、家庭でのお手伝いや地域行事への参加などの生活・文化体験活動、キャンプや自然観察などの自然体験活動、ボランティアや職業体験などの社会体験活動など、様々な活動を通して多くのふれあいが生まれることを期待しています。</p> <p>(追及7)            仕事を休めない保護者の方も多くいらっしゃることで、すべての家庭がこの制度の趣旨に沿った過ごし方ができるものではないことは認識しています。ただ、体験活動やふれあいの機会を行いやすいように環境を整えていくことは大切なことだと考えています。本制度が子どもたちにも、家庭にも有意義なものとなるよう、周知を図っていきたいと思います。</p> <p>(追及8)            次年度以降もこの休業日は継続していく予定です。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>		検討中	対応中
<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">対応済</span>			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	朝野 和隆	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年3月4日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	新型コロナウイルス感染症への対応について (3) 学校の休業について		
<b>【質問要旨】</b> (追及7) 新型コロナウイルス感染症に伴う学校の臨時休業については、これまで「最終接触日の翌日から数えて5日間を臨時休業とする」とされていた。休業が長期になると保護者からも困るとの声があるが、現在の新型コロナに伴う学校の臨時休業の取扱いと児童クラブの取扱いについて伺う。			
<b>【答弁要旨】</b> (追及7) 陽性者の増加に伴い、臨時休業を繰り返す学校が出てきたため、現時点では、陽性者が判明した場合はひとまず学校全体を臨時休業とし、関係者の検査を行って安全性が確認でき次第、保健所と協議の上再開することとしています。放課後児童クラブも、学校と同期間、臨時閉所としています。なお、学校を再開した場合でも、濃厚接触者が多い特定の学級・学年においては、その学級・学年のみを引き続き休業とする場合もあります。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年3月4日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	小・中・義務教育学校の図書室に関連して (1) 現状について (2) 取り組みについて (3) 今後について		
<b>【質問要旨】</b>			
(登壇) 学校の図書館への新聞の配置状況について伺う。 (追及1) 新聞を活用したどのような教育活動が行われているのか伺う。 (追及2) 新聞を活用した教育活動は、教育的効果があるのか。			
<b>【答弁要旨】</b>			
(登壇) 令和3年度の調査から、図書館に新聞を置いている学校は小学校が34校、中学校が10校、義務教育学校が4校です。これらの学校では、児童生徒は図書館で新聞を読める環境にあります。 (追及1) 学習指導要領では情報活用能力の育成が重視され、情報ネットワークはもちろん、新聞、統計資料、視覚教材等の適切な活用が求められています。新聞の活用については、例えば小学校5年生や中学校3年生の国語では、新聞の読み方を身に付け、二つの記事を比較して読み、違いや気づいたこと、考えたことを文章にまとめる学習をしています。その他、人の生き方につながる記事を道徳と関連させたり、選挙記事から社会科の選挙制度への興味につながり等もあります。新聞記事には、タイムリーな社会情勢や社会問題が取り上げられています。その教科書にはない面を活かして、様々な教科で適切かつ有効な活用を工夫し、学習しています。 (追及2) 新聞を含めた情報に係る教材は、情報活用能力の育成につながります。問題を発見し必要な情報を収集する、収集した情報を整理・分析・比較する、それによって自分の考えを形成し発信するなど、情報化が益々進んでいくであろう将来の社会を児童生徒が生き抜くために必要な力の育成が期待できます。また、新聞は現代社会の課題である「持続可能な社会の構築」「防災」「主権者形成」等を扱うことも多いです。記事を読んだことをきっかけに、現代社会の課題について考え始めたり、行動化したりする児童生徒もいます。これは、よりよい社会の形成者になろうとする意欲や態度にもつながると考えます。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	総合教育センター
質問・答弁月日	令和4年3月4日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 <span style="border: 2px solid black;">追及</span>
質問事項	新型コロナウイルス感染症に関連して (3) ワクチン接種について		
<p><b>【質問要旨】</b></p> <p>(追及8)</p> <p>5歳から11歳のワクチン接種は高くないと思うが、ワクチンを打つ、打たないでいじめや差別、偏見につながる恐れもあると心配するが、園児や児童生徒を守るためにどのように対応していくのか。教育長に伺う。</p>			
<p><b>【答弁要旨】</b></p> <p>(追及8)</p> <p>5歳から11歳の子どもたちへの新型コロナウイルス感染症のワクチン接種についても、これまでのワクチン接種同様、身体的な理由や様々な事情により接種することができない方、接種を望まない方がいることを児童生徒や保護者の方に正しく理解してもらうことが大切です。各学校では、新型コロナウイルス感染症に関するいじめや差別の防止についての本市教育委員会からの通知文書や県からのチラシ等を活用しながら、児童生徒の発達段階に合わせて一人ひとりの意思や事情を尊重することが大切であることを啓発してまいりました。引き続き児童生徒の様子を細やかに見取りながら、機を捉えて啓発するとともに必要に応じてスクールカウンセラー等のカウンセリングにつなげるなど、個に応じた丁寧な対応をしていきます。</p>			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年3月4日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	保育園・幼稚園・小・中・義務教育学校の教職員に関連して (1) 人員について (2) 教員免許について (3) 待機児童について		
<b>【質問要旨】</b> (登壇) 教員免許の種類、どのような制限があるのか伺う。 (追及1) そもそも更新とはどのようなものなのか伺う。			
<b>【答弁要旨】</b> (登壇) 教員の普通免許状は、教育職員免許法により10年間効力を有するとされています。この免許状は、高等学校教諭免許状、中学校教諭免許状のように教える教科により免許が分かれているものと、小学校教諭免許状のように教科の区別がないものがあります。また、先ほど申しあげました普通免許状のほかに、授与された都道府県のみで10年間効力を有する特別免許状、授与された都道府県のみで3年間効力を有する臨時免許状があります。 (追及1) 教員免許更新制は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身につけるために導入された制度で、平成21年4月より導入されております。内容としては、有効期間満了日の2年2か月から2か月前までの2年間に、大学などが開設する30時間以上の免許状更新講習を受講するもので、必修領域を6時間以上受講することや、免許状の種類や経験に応じて6時間以上の選択必修領域を受講することなどが義務付けられています。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			

## 鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和4年2月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和4年3月4日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 <span style="border: 2px solid black;">追及</span>
質問事項	保育園・幼稚園・小・中・義務教育学校の教職員に関連して (1) 人員について (2) 教員免許について (3) 待機児童について		
<b>【質問要旨】</b> (追及2) 教員免許更新制度が廃止になると聞いているが、どういう影響があるのか。 (追及3) 教員免許更新制度が廃止されると、教員の質の低下が懸念される。質の確保をどのように 図っていくのか伺う。			
<b>【答弁要旨】</b> (追及2) 教員免許更新制は、教師の学びの機会の拡大など、一定の成果は上がってきましたが、10年に1度の講習は、最新の知識を学び続けていくことと整合的でない、長期休業中に個々で受講し、更新しなければ職務上の地位を失うなどという点で、主体的な学びとなりにくいなどの課題も指摘されるようになりました。今後、どのような制度変更があるか、国の動向を注視する必要あると思いますが、今回この制度が発展的に解消され、組織的な研修やオンラインでの研修など令和の時代に合った制度となることで、先ほどの課題や教員の多忙化の解消に一定の効果があると考えております。 (追及3) 教員免許更新制度は、現状では最新の知識技能を学び続けにくいといった理由や現場での経験を重視したものにすべきといった理由から今回、発展的に解消されるものです。 したがって、本市では、鳥取市総合教育センターを中心として、これまで学校の中核を担ってきた年齢層の教員から若い世代へ優れた指導技術や研究結果などを継承する仕組みづくりを行ったり、ICTを活用した指導方法についてさらに理解を深める研修を行ったりする必要が有ると考えております。いずれにしましても、今後どのような制度変更が行われるかを注視し、本市教職員の質の維持・向上に努めたいと思います。			
<b>【対応方針・進捗状況】</b>	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和4年3月28日(3月定例教育委員会)			